



耐久高等学校同窓会報

耐久



耐久創立150周年記念事業

150周年に花添える
奈良県の雄、郡山高校を招聘

とき 2002年6月9日
ところ (湯浅町)なぎの里球場

No. 10

平成十二年度卒業式

去る二月一日(金) 第五十
四回全日制(三二一名)・第
四十六回定時制(一三名)
の卒業式が、昼夜にわけて
執り行われた。

薮添泰弘校長は、有吉佐
和子の小説「紀ノ川」「有田
川」を取り上げられ、人生
を川の流れに喩えた最後の
訓話を卒業生たちに贈られた。
又、橋本佳巳同窓会長は、
恩師からの教えとして「や
さしい人柄」「不斷の努力」
「かくれたる闘志」の三つ
を贈る言葉に選び、終生支
え合える同窓であつて欲し
い旨を祝詞とされた。卒業
証書授与式に臨む卒業生達
の姿勢・態度も素晴らしい
厳粛のうちに感動深い卒
業式となつた。



平成十四年度入学式
四月九日(火) 平成十四年
度全日制・定時制入学式が
挙行され、全日革新入生二
八〇名(普通科二四〇名・
グローバル探究科四〇名)・
定時制一〇名の入学が許可
された。その結果、四月九
日現在、全校生徒は
八九〇名(男子四三四名・

女子四五六名)・定時制生徒
五十六名(男子四十二名女
子十四名)となつた。
薮添校長は式辞の中で「今
年、創立百五十周年を迎
ようとしている歴史と伝統
を持つこの耐久高校で学ぶ
ことに、大きな喜びと誇り
を持つて欲しい。」時間を
大切にし、自覚と責任のもと、
有意義な高校生活を過ごし
て欲しい」と述べられた。

同窓会活動報告

- 3月1日(金) 卒業式(全日制54回 定時制46回(夜))…会長
 - 6日(水) 同窓会役員会
 - 16日(土) 関西耐久会総会(南海サウスタワー)…校長・会長・伏木副会長・上野実行委員長
 - 21日(木) ギャラリー地球堂訪問…校長・会長
 - 22日(金) ヤマサ・ヒゲタ両社訪問 [高居会長・丸尾・大野両副会長
関東耐久会三役と会談] [校長・会長]
 - 4月5日(金) 教職員異動送別会(於横幅)…会長
 - 11日(木) 歴代校長さんとの懇親会(学校一美屋井)
…上野実行委員長・会長
 - 15日(月) 同窓会役員会兼辻岡・竹内兩先生歓迎会(あま美)
 - 18日(木) 150周年事業実行委員会
 - 5月20日(月) 150周年事業実行委員会
 - 25日(土) 関東耐久会総会(アルカディア市ヶ谷)
…校長・上野委員長・会長・伏木
 - 6月9日(日) 150周年招待野球(郡山高)…なぎの里球場
…校長・上野委員長・会長 他
 - 21日(金) 関西耐久会三役と会談(ニューオータニ)
…校長・会長(阪本会長・横山・荒木)
 - 26日(水) 150周年事業実行委員会
 - 7月6日(土) 県同窓会連絡協議会(串本ロイヤルホテル)
…校長・白井先生・会長
 - 9日(火) 同窓会役員会
 - 26日(金) 150周年事業実行委員会
 - 8月26日(月) 150周年事業実行委員会
- ※150周年委員会の各部会は随時活動を行っています。

◎同窓会事務局を担当下さっていた辻岡俊明先生が箕島高教頭にご就任されました。

◀ 150周年記念式典 ▶

- ① 11月1日(金)~3日(日)
記念展示(本校・武道館)
- ② 11月1日(金) 13:00~
記念コンサート(ヒステリック・ブルー)
[生徒・PTA・OB・一般]

- ③ 11月2日(土) (本校・体育館)
 - 銅像除幕式 11:00~ 本校庭園
 - 記念式典 13:00~14:15
 - 記念講演 湯井敏行氏(京都府立医科大学教授)
演題 私の癌研究の歩み
—新しい治療法や予防法の開発を目指して—
 - 教育懇談会 (本校・会議室) 16:00~
[各国における教育の現状と課題]
アメリカ・ニュージーランド・中国の招待者
小・中・高等学校関係者
PTA・姉妹校関係者 他
 - 文化交流会 19:00~



カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・出張撮影

 フォトショップルナカ
ユビア

湯浅町湯浅1852(ユビア1F) TEL(FAX) 63-2170



パートナーズハウス ゆあさ

ペットと泊まるログハウスの宿……お車で大阪より1時間半

湯浅山田山の新名所

横山亨(高14期)

ご予約・お問い合わせ TEL・FAX 0737-65-3411

URL: <http://www.partnershouse.jp>

耐久創立150周年記念 — 成功させよう、みんなの力で !

創立150周年記念事業進捗状況と今後の予定

[1] 募金状況

社会的悪条件の中、趣意にご配慮頂いた皆様方に感謝しつつも目標値の遠さに大変苦慮致しております。後一ヶ月、未だお済みでない方達への再度のお願いと達成運動の為ご協力を切望するものであります。

[2] 特定事業について

- 玄関・前庭の整備
- シンボルツリー植樹
- 正門・通用門周辺改修

} ほぼ完成

[3] 各種記念事業等について

1. 教育論文募集関係 — 応募〆切 [14年9月27日]

応募要領等、全国高校・教育機関に発送、各方面にPR済。

第1回 耐久賞 (耐久教育論文賞)

- 一般部門 論文「今、教育を考える」……論題（タイトル）自由
- 高校生部門 ・作文「青春、心の叫び！」……副題は自由
・川柳「私の高校生活」

2. 国際理解講演会 (日時 10月18日(金) ……9時30分～) 場所 本校・体育館

講師 ダニエル・カール氏(タレント・コメンティター・山形弁研究家) アメリカ・カリフォルニア出身
区域内学校関係・O B他 一般歓迎

3. 学校諸活動支援関係

- ・先輩による授業 9月 橋本和明氏 (高28期生・昭和51年卒) 彫刻家・二科会会員
10月 石黒民子氏 (高15期生・昭和38年卒) 元国際テニス連盟公認国際審判員
東京都稲城市教育委員
11月 川口雅之氏 (高理4期・昭和50年卒) 大阪電気大学教授
- ・クラブ活動支援 — 硬式野球部招待記念試合 (6月9日実施) 他部活動活性化の支援
- ・芸術鑑賞支援 — 和太鼓 (大和) 鑑賞 (7月10日実施)
- ・文化祭支援 — 9月22・23両日

4. 地教委・中学校関係者と「耐久の教育について」の懇談会 (9月5日)

5. 「耐久校史」……作成中 (12月発刊予定)



多くの成果を得た 郡山高校との記念試合

耐久創立百五十周年記念事業のトップをきって、我が耐久硬式野球部と奈良県立郡山高校との招待試合は六月九日(日)湯浅町なぎの里球場で吉川嘉造日本高野連常任理事他、多くのご来賓をお迎えし、また本校野球部O B・学校関係者、そして対戦相手の奈良からもバス三台での応援を頂くなか開会式を挙行。敷添校長は「五十年の歴史と伝統を振り返り、新たな一步を記したい。試合は創立記念事業の第一回目であり、花を添えていただいた郡山高校の皆さんに感謝します。」と挨拶。郡山高の山中啓視主将から「全力でプレーし、百五十周年を祝いたい。」との誓いの後、野球部O Bでもある橋本同窓会長の始球でダブルヘッダーが行われた。(耐久一敗一分け)

当日、耐久硬式野球部応援歌を作詞・作曲された前田道治氏 (昭30卒) に感謝状と花束も贈られた。

文武両道の郡山高校からは、開会式等での姿勢・態度、また試合においても数少ないチャンスを着実に得点に結びつけるなど選手達の「集中力」の素晴らしさを含めた多くを学ぶことが出来たし、今後両校の定期戦も確認された、素晴らしい一日となつた。

株式会社 伊豆美 代表取締役 和泉 進 (高22期) 東京都稲城市 TEL. 042-378-8180	塗装のことなら 中内塗装 中内祐也 (高45期) 湯浅町山田10-13 TEL. 63-3769	湯浅町靈園指定 (有)石吉石材店 代表者 石家 繁 (高18期) 湯浅店 和歌山県有田郡湯浅町大宮通り 箕島店 和歌山県有田市箕島港 (自) TEL. (0737) 62-3159 (工) TEL. (0737) 63-6148 TEL. (0737) 82-1247
記念募金へのご理解ありがとうございます。知人・友人へのご伝声にご協力を!		



左から 上野 寛实行委員長（11代）永廣頼夫先生（7代）松本彰博先生
 （14代）萩添泰弘現校長（6代）広井 隆先生（12代）松野利彦先生
 （8代）藤本忠義先生（13代）福田行宏先生 橋本佳巳同窓会長

四月十五日、歴代校長先生（六名）をお招きし「耐久の一五〇周年と今後の課題」をテーマとして記念事業の意義について、又、有田における耐久の果し

てきた役割等について大いに語って頂き、一五〇周年への取組み更なるパワーを頂きました。事は誠に幸いでし

又、今、県立高校は学区制の撤廃や入試の弾力化など激動の時代に入り、各校がその独自性、カラーをどう発揮するかが問われている中で、今後の耐久の在り方、進むべき道についても率直なご意見、ご提言を下さり大変意義ある座談会に終始出来たものと考えます。

耐久を熱く語る歴代校長先生

進路概況について

18歳人口は減少しているが、まだ進学・就職等の厳しい状況の中で、今春の卒業生311名はよく健闘した。国公立大学の合格者総数は、神戸大をはじめ47名と昨年よりさらに増加し、全体の合格率も上がった。日々の努力がこのような結果に結びついたものと考えられる。

(1) 進路状況 (平成14年3月卒業生311名〈男子162名、女子149名〉)

	進 学						就 職				合 計		
	4年制大学			短期大学		専修	公務員	企業	家業	計			
	国立	私立	計	国立	私立	各種							
男	24	62	86	1	0	1	23	5	5	2	12	40	162
女	22	39	61	9	29	38	34	0	6	1	7	9	149
合計	46	101	147	10	29	39	57	5	11	3	19	49	311

(2) 大学・短大合格者数 (平成14年3月卒業生と過年度生)

	4 年 制 大 学					短 期 大 学					合 計	
	国 公 立			私 立		国 公 立			私 立 大			
	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現		
男	24	5	29	115	25	140	1	0	1	0	0	170
女	23	3	26	73	15	88	10	0	10	36	1	161
合計	47	8	55	188	40	228	11	0	11	36	1	331

主な合格先 (延べ数)

國公立大学

帯広畜産・北見工業・山形大（2）・福井医科

山梨大・静岡大（3）・愛知教育（2）・滋賀大

京都教育・神戸大・和歌山大（17）・鳥取大（3）

島根大（5）・広島大・徳島大・香川大

鹿屋体育・高崎経済・都留文科・滋賀県立

大阪女子・大阪市立・神戸商科・姫路工業（2）

広島県立（2）・下関市立・高知女子

酪農学園・大東文化（2）・中央大・東京農大

日本大・明治大・早稲田大・北陸大

福井工業（3）・朝日大・平安女学院（2）

大谷大・京都外国语・京都産業（20）

京都府女子（4）・京都薬科・同志社女子（3）

ノートルダム女子（3）・佛教大（7）・花園大（2）

立命館大（10）・龍谷大（14）・大阪学院（2）

大阪経済（2）・大阪経済法・大阪芸術

大阪工業（12）・大阪産業・大阪商業（4）

大阪電通（4）・大谷女子（3）・追手門学院（6）

関西大（9）・関西外国语・近畿大（16）

四天王寺・桜南大（3）・帝塚山学院（3）

阪南大・桃山学院（18）・関西学院（4）

甲南大（6）・甲南女子（2）・神戸学院（7）

神戸女子（3）・神戸松蔭女（3）・姫路独協（2）

帝塚山（2）・奈良（2）・岡山理科（8）

広島国際・徳島文理（2）

九州大医短・神戸市看短・和医大看短（9）

京都女子短（6）・大阪女学短・大阪成蹊女短

大阪明淨短・関西外語短（4）・関西女短

四天王寺短・大阪国際女・常磐会短

武庫川女短（3）・和歌山信愛（9）

徳島文理短

割烹

美屋井

仕出し

宮井料理店

湯浅町2922 TEL.63-3640

湯浅町753 TEL.62-2207

宮井慶三（高7期）

鉄骨建築

生駒鉄工所

代表者 生駒順一

工場 湯浅町柄原56-1
TEL.0737-62-2934

自宅 湯浅町湯浅1607-3
TEL.0737-63-0108

法眼米穀店

湯浅 62-2438

法眼きみえ（高女12期）

法眼貞子（高19期）

耐久創立150周年記念 —— 成功させよう、みんなの力で！

連載 浜口梧陵(5)

垣内貞

梧陵と銚子で出合つた三宅良齋は、長崎で蘭学を学び、江戸に出て医業に専念する志を持っていた。しかし、当幕府は風土の相異を理由に蘭方を嫌い、やむなく銚子で開業をする。



耐久社創立

で幕府は国是の確立も出来ず、まさに内憂外患、国家存亡の時を迎えていた。

このようない時勢を冷静に見つめながら、梧陵は郷土の先輩で漢詩人として知られた菊池海莊と内外の情報の蒐集に努め、今

後の日本の在り方を模索する。その情報は各方面にわたり、誠に精度の高いものであつたと、宮地正人東大教授著の『維新変革と近代日本』(岩波書店)の中で記述されている。

梧陵はまた、海莊の紹介で、当時の兵学と砲術の第一人者であつた佐久間象山の門に入る。

その後、広村に持ち帰ったゲベル銃は、彼から購入したものである。

嘉永四年(一八五一年)帰郷した梧陵は、村人に国防の必要性を説き、広村崇義団を結成。翌嘉永五年四月一日には、「刻下の急務は國家有用の人材を養成するにある」

その間、梧陵の建学の精神が脈々と受継がれ、現代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家督を相続した梧陵は、七代儀兵衛を襲名、家業のため江戸に赴くが、時を同じくして浦賀にペリー提督率いる米国艦隊が入港し、開国を迫つてき

たのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非

常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考えである。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考えである。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲来に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲來に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲來に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲來に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた。當時の身分制度の厳しい中、幕閣の重鎮が一商人に過ぎない梧陵の意見を聽取したことは、いかに卓越した考え方である。

一方、國論は尊王攘夷と開国の兩論が対立、その中

明岳と謀って、広村田町に

文武両道の稽古場を開設する。

時に梧陵三十三歳、東江五

十二歳、明岳は二十二歳の

春であった。

この私塾が幾多の変遷を

経ながらも、百五十年の長

い歴史を刻み、

その間、梧陵の

建学の精神が脈々と受継がれ、現

代の耐久高校へと発展をする。

嘉永六年、家

督を相続した梧

陵は、七代儀兵

衛を襲名、家業

のため江戸に赴

くが、時を同じくして浦賀にペ

リー提督率いる

米国艦隊が入港し、開国を迫つてきたのである。

黒船襲來に對し、幕府の狼狽は非常なもので、これを目撃した梧陵は、秀れた洞察力と先進性で対外思想の一転機を画し、「ペリーの持参した米国大統領の国書は、多少威圧的であるが、その要求するところは正々堂々條理にも適い、然も蒸汽船の發達は両国国民の接近を促しつつある。

梧陵は度々老中に招かれ外交の意見を求められた

第一回 関東耐久会総会を終えて



ヤマサ醤油 濱口道雄社長の挨拶

まず「耐久高校校歌齊唱」のあと、高居富一・関東耐久会会长の挨拶に続いて、ご来賓の橋本佳巳・同窓会会长、内容で進めました。

主催者側より今回の総会に至る経過説明および関東耐久会会則（案）を提示いたし、出席者よりご承認を得て、正式発足となりました。（入会金：1000円、年会費：1000円）

続いて、講演「ふるさとを想う」と題し、日本テレビ参与 石尾栄一氏（高校38年卒）より、ふるさとへの情感あふるるご講話に楽しいひと時を持つことができました。

今後の「関東耐久会」の運営にあたっては、新しい会則に基づいてできるだけ多くの方々に会員になつていただき、来年の第二回総会には是非とも一五〇名以上

げた「関東耐久会」の第一回総会を去る五月二五日にアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催いたしました。約一一〇名のご参加をいたしましたが、三時間を超える盛大なセレモニーとなりました。

出席者の内訳は男性、女性ほぼ同数でやや中高年者多かったものの、前半は総会、後半は交歓会という内容で進めました。

上野委員長からは一五〇周年記念事業への熱き想いと「寄付金」募集に強い協力のご依頼がありました。

特別来賓としてヤマサ醤油の濱口道雄社長（耐久高校創立者の濱口梧陵翁七代目当主）からもご祝辞を戴くとともに、同社のヒット商品である「昆布ぽん酢」をお土産として出席者全員に頂戴いたしました。

今回の出席者の最高齢者は渡部光彦氏（九六歳）、久保田アサ子さん（九二歳）でお二人のご健在ぶりは圧巻でした。

途中より、自慢ののどを競う「カラオケ大会」となり、高居会長の「三一会の歌」を皮切りに、高女卒業生による「有田高女校歌齊唱」と続き若い方から「高校三年生」が出る頃には最高潮となり、大いに盛り上がりました。

上の集会を果たしたく、色々企画してゆきたく考えております。（現在会員数：一五〇名）

昨年十月十三日に立ちあげた「関東耐久会」の第一回総会を去る五月二五日にアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催いたしました。

ただ、三時間を超える盛大なセレモニーとなりました。

上野委員長からは一五〇周年記念事業への熱き想いと「寄付金」募集に強い協力のご依頼がありました。

特別来賓としてヤマサ醤油の濱口道雄社長（耐久高校創立者の濱口梧陵翁七代目当主）からもご祝辞を戴くとともに、同社のヒット商品である「昆布ぽん酢」をお土産として出席者全員に頂戴いたしました。

今回の出席者の最高齢者は渡部光彦氏（九六歳）、久保田アサ子さん（九二歳）でお二人のご健在ぶりは圧巻でした。

途中より、自慢ののどを競う「カラオケ大会」となり、高居会長の「三一会の歌」を皮切りに、高女卒業生による「有田高女校歌齊唱」と続き若い方から「高校三年生」が出る頃には最高潮となり、大いに盛り上がりました。

上の集会を果たしたく、色々企画してゆきたく考えております。（現在会員数：一五〇名）

記念募金へのご理解ありがとうございます。知人・友人へのご伝声にご協力を！

150周年を記念して校歌集CDを発売 (旧制中学校・有田高女・耐久高校)



期毎の同窓会時に便利かと思います。
申込は学校事務局(62-4148)へ

※11月の式典当日にも発売予定
¥1,500-

企画・制作 耐久同窓会

Total Printing System
ICHIIYO
株式会社一乗

和歌山市湊組屋町2丁目30番地
(市民会館前)
Tel.073-423-6950
Fax.073-423-6955

一 有田の地酒 一
くまのみち醸造元
高垣酒造場

高垣淳一 (高35期)
金原町小川 TEL.0737-34-2109(代)

山本印刷所

山本勝久
湯浅町1450 (耐久高東側・国道沿)
TEL.0737-63-1680
FAX.0737-62-2956

夢で終りたくない甲子園
皆さんのご支援ご協力を!

頑張れ硬式野球部

球想会(高4期OB)
五百崎博己
上野山和夫
中邑信五
橋本佳巳



九鬼利郎
耐久同窓会副会長

150周年にむけて 関西耐久会盛会

例年になく早く訪れた桜の開花に誘われて三月十六日正午から関西耐久会の総会が開かれました。

母校和歌山への玄関口大坂難波にある南海サウスタワーホテルの眺望遙かな三五階パティールームに一四〇名もの大勢の会員が集まりました。

冒頭、関西耐久会阪本禎三会長から母校の歴史について、日本一の歴史を誇る耐久に学び、名誉ある母校を持つ私たちが、社会に出ても耐久の卒業生であることの喜びを共有して協力しているこの挨拶があり、創立一五〇周年記念事業実行委員会上野寛委員長の記念事業についての説明、校歌齊唱に続き、耐久同窓会橋本佳巳会長の発声による乾杯の後は賑やかな歓談に移りました。

久しぶり何十年ぶりとう人たちもいて、つまる話は尽きず、タイムトンネルをくぐり抜けて、みんな、昔の腕白坊主とおてんば娘に変身して時間が過ぎるのを忘れてしました。



◆耐久への愛着、想いに感動！

「去る八月五日、関東耐久会

役員会(?)が開催され、私も

お招き頂き出席いたしまし

た。これまでの取組みの反

省と今後の展望について熱

心な議論でありましたが、

高居会長様始め皆様の耐久

への愛着、想いがいか程に

大きいか、改めて知り

ました。

大先輩達が愛情深く母校を想い、情熱的に故郷について語り合っている姿に接し、私達後輩は一体何をす

ますと関東耐久会の会員申し込みが二〇〇名程になつてゐるとの事でした。

この写真は地球を一周しました。私が渡伯の時、太平洋—インド洋—大西洋を六十日間かかって乗り越え、ブラジルに来て早や五十年、

TEL ○三一五二六一一五八八五
株アイ・エヌ・エー 高居富一
〒112-8668 東京都文京区関口一丁目四四一
一〇

和歌山耐久会 募金への更なる運動を展開

各支部でも毎月集計される

う事にして居ります。

支部別・各期別の実績表を検討し、未だお迷いの方、お忘れの方を含む、お済みでない方々を対象に、再度の募金への呼びかけ(郵送)を行いました。

尚、今後共和歌山耐久会の

充実にも格段のご協力を切望するものであります。

記念すべき 耐久学舎の思い出

これは私達が学生改

革で宮原の文成中学に

転校させられた直前に

写したもので。南海

道地震・津波の前でも

あり、百五十年祭をひ

かえて何かの資料にな

ればと思つて郵送致し

ました。

この写真は地球を一

周しました。私が渡伯

の時、太平洋—インド

洋—大西洋を六十日間

かかって乗り越え、ブ

ラジルに来て早や五十年、

半世紀。今は飛行機で

三五〇〇キロメートル

を二十五時間の速さで日

本に着く事でしよう……。

(八月三十日)

ブラジルの桑原 保
(高4期生)



旧制耐久中学校 同窓会記



たたふる波も那耆の海
たなびく雲や生石山
わが学舎は礎を
嘉永の昔ここに置き
耐久学舎の名と共に
幾年月を過ぎにけり

懐かしい旧耐久中学校校歌と共に、昨年に引き続き第十五回目の同級会が『湯浅城』で開催されました。当番幹事は横矢・中・佐々木の湯浅在住の三氏で、万端の準備を整えて迎えて下さった。時は平成十四年五月二十五日正午。十一時半には既に大半は集合し、「一年間のご無沙汰！」と変わらぬ元気な対面を喜び、久し振りの参加者には特に懐旧の思いが強く、あだ名で呼んだり、それぞれの人

卒業生二一八名、物故者二九名、出席者三〇名、一部住所不明者三名が、全部で五十二名でした。このうち、市内在住者三十九名、市外在住者三名、物故者二九名、出席者三〇名、一部住所不明者三名が、全部で五十二名でした。

級会についての名文が掲載されていますので、今回は簡単に報告させて頂きます。

昨年は池尻和男君の十四回同級会についての名文が掲載され、今年は斎藤勇吉先生には図画の時間に斎藤勇吉先生には図画の時間に

が合うて離れられぬ』実感が湧いてきました。
今回、佐々木志郎君と、耐久高校同窓会誌編集部の斎藤さんより同誌への投稿依頼があり筆を執らせていただきました。依頼者斎藤さんの父君である恩師

斎藤勇吉先生には図画の時間によく耳を引っ張られて立たされたのですが、この度はご子息に耳を引っ張られた投稿であり、何かの因縁かと思っています。

二十年七月二十八日夜、小学校の校庭から「東燃」工場が炎上する光景を見めながら過ごした夜のこと、早朝寒風吹き荒ぶ「院の馬場」を寒稽古に通つたことなど、思い出は尽きません。

中学一年生の後半からは冬休み・夏休みを返上して勉強と学徒活動の二週交代制という変則な生活が始まりました。

私は昭和十八年四月、耐久中学校に入学、二十三年三月の卒業まで、波乱に満ちた五年間を過ごしました。

在りし日の思い出

旧中42期 榎木現造

私は昭和十八年四月、耐久中学校に入学、二十三年三月の卒業まで、波乱に満ちた五年間を過ごしました。

四年生の二学期がまさに終わる二十一日、早朝に発生した南海大地震と津波。友達数名と自転車で学校に向かう道すがら、広橋の手前からは泥沼と化し、電柱は倒れ、息絶え絶えの人々が徘徊する中、校門をくぐると美しかった運動場の半分近くは流失し、白波が奔流となつて打ち返していました。

由良町にある「航空燃料廠」が動員先で、ガソリン入りのドラム缶の運搬作業、燃料倉庫の屋根の隠蔽作業はたまたま弾薬？の運搬など苦しい毎日でした。そんな厳しい時代でしたが、白崎へ行けば「米・麦・唐黍」混合のご飯と若布汁を腹一杯食べられたし、短い休憩時間には山桃採りなどして苦しさを忘れたことなど、ほろ苦い思い出です。

最後に「鍛えし腕示すは今ぞ……」の懐かしい応援歌を合唱し、私達の意気と力を鼓舞する応援歌として捉え、今後の永い人生を

この機会を演出下さった幹事さんには感謝したいと存じます。

十五歳の中学三年生の私はみんな空虚な思いに落ち込んだものでした。

四年生の二学期がまさに終わる二十一日、早朝に発生した南海大地震と津波。友達数名と自転車で学校に向かう道すがら、広橋の手前からは泥沼と化し、電柱は倒れ、息絶え絶えの人々が徘徊する中、校門をくぐると美しかった運動場の半分近くは流失し、白波が奔流となつて打ち返していました。

由良町にある「航空燃料廠」が動員先で、ガソリン入りのドラム缶の運搬作業、燃料倉庫の屋根の隠蔽作業はたまたま弾薬？の運搬など苦しい毎日でした。そんな厳しい時代でしたが、白崎へ行けば「米・麦・唐黍」混合のご飯と若布汁を腹一杯食べられたし、短い休憩時間には山桃採りなどして苦しさを忘れたことなど、ほろ苦い思い出です。

最後に「鍛えし腕示すは今ぞ……」の懐かしい応援歌を合唱し、私達の意気と力を鼓舞する応援歌として捉え、今後の永い人生を

この機会を演出下さった幹事さんには感謝したいと存じます。

敗戦など有り得ないと確信して私達を育てて下さった校訓「眞面目」を心にとめて、かけがえのない故郷の発展のために貢献したいと思います。昨今です。

ともあれ、在校中心身に亘つて私達を育てて下さった校訓「眞面目」を心にとめて、かけがえのない故郷の発展のために貢献したいと思います。昨今です。

焼肉道場 三国一

焼肉 三国一

焼肉 三国一

株式会社 ユアサ

有田郡湯浅町湯浅1590
電話 0737-62-5700

黒田店
和歌山市黒田249
電話 073-475-3100

杣取店
和歌山市杣取162-1
電話 073-480-4600

本店(湯浅町港区)・和歌山支店・御坊営業所
上野 寛(川中41期)

同窓会報購読希望の方は送料1,000円同封の上、お申込下さい。(事務局)



有田高女15期同級会

待ちに待った同級会が、

六月五、六日と滝原温泉ほ
たるの湯で開催されました。

当日湯浅駅一時半集合で、

和歌山方面からの電車、ま
れた特急くろしお号で、奈良、

神戸、東大阪の三名が見え
られて、勢揃いしました。

昨年は三十一名、今年は
二十五名の申込で、二十二
名の出席があり、一同参加

出来た幸運を歓び合いました。
送迎バスで、ほたるの湯
到着。部屋は、襖を開けれ
ば四部屋が一室に連なって
いた。皆のお気に入りでした。

食前、同窓会報配布と、
百五十周年寄附を依頼した
処、遅くなつてと、三名か
ら御申出を頂きました。

小川沿いで、ほたるを見
て歓声。今年は旬気が一週
間程早かつたのだそうです。
広くてきれいな温泉でく
つろぎ、朝風呂も頂いて、
お土産をどつさり買い込み
ました。

手荷物一杯でした。

私達は、平均年令八十二
歳、脚腰は弱つて体が丸くなつて
います。毎年続けている此の会を、最期迄続
けたいと願っています。今年は有田市の方々がお世話
下さいました。来年の事は請負えない、と言いながら
も、広川、衣奈の方々が引受け下さいました。

昼食をすませて、湯浅駅に到着。

今回のメンバーが変る事なく、又来年もお逢いでき
ますよう念じつつ、お身体に気をつけてと、別れを惜しみながら散会しました。



数見をじう記

ときじく会

風にそよぐ青葉の美しい季節である。五月二十一日、

二十二日の一泊二日の旅。

旅先は田辺かんばの宿。朝から快晴に気をよくして

係り二人は一足先に向かう。みんなを迎えるための準備

を始める。そわそわとして

気ばかりが焦る。小さな失敗をくり返しつつも、これで

完了“と声を大きくした。

時計を見ながら午後二時半過ぎに大阪組二人が玄関に見えた。とても嬉しく満面の笑顔で迎えた。三時過ぎには全員到着二十名。花が開いたように明るくにぎやかな集団となる。

目的ではあつた。

その後来年度の場所、お世話下さる地区の方々など

スムーズに決定した。とき

じく会はまだまだ強いとい

う力強さを感じた。場所はマリーナシティ、和歌山

市在住の方が積極的にお世

話を下さる様子。みんな歓声

をあげた。

二日間をぶり返つて見る

みんな大きな心で包んで下

と行き届かない世話係りで

御迷惑をかけた面もあったが、

それぞれ帰途についた。



高女部会員の皆様へ

昭和三十八年八月を皮切

りに、平成十一年五月まで

四年毎に総会を開催してま

いました。毎回五百名を

越す会員が集まり、厚い友

情を育んでまいりました

が、創立八十周年に当る平

成十一年五月第十回総会を

もつて長い歴史に幕を閉じ

ました。

その間会員から頂きました維持費の余剰金が、平成十二年七月、郵貯定期の満期を迎えました。これは長年先輩諸姉の貴いご厚志であります。中には物故会員も多く含まれています。その使途について何回か幹事会で相談の結果、たまたま今年は耐久高校百五十周年に当たり、皆様から広く寄付を募っているこの時期に、高女部として寄付させて頂く事が最善の選択ではという事になり、本日三役で、敷添校長先生に三百万円、お届けしてまいりました。

会員の皆様並びに物故会員の皆様に厚く御礼と感謝を申し上げ、報告させて頂きます。

さつたことを改めて感謝し、

御迷惑をかけた面もあったが、

来年のおめもじを楽しみに

見られるものではない。食後はもう話に熱中するばかり。

今年は近くでゆっくり話を

して一夜を過ごそうという

後はもう話に熱中するばかり。

ついでに、

お土産をどうぞ

</

高8期関東会開催

(会報委員会の手落と随分と遅くなり
申し訳ございません。紙面をお借り
りし深くお詫び申し上げます。)



後列 市間眞次 市間照男 戸田安彦 山澤祥吾 湯高木綾乃
北野正治 玉井 増 中村佐代子 平本千恵子 山邊泰子 小南上門左知
小南上門弘知

身中学も違い、卒業アルバ
ムでしか知ることのできな
かった在京8期生ですが、
やつと東京は青山で再会す
ることができました。

週間天気予報では、当日

四月七日、満開の桜の下で、高8期卒の関東会(仮称:メンバーメンバーは男子九名、女子八名)が十三名の参加のもとに開催されました。湯浅を離れて四十五年。学生時代にはクラスも、出

夜は青山の一等地、乃木坂の尚友会館で豪華な食事をしながら、当時を振り返り、高校時代、諸先生方からお教え頂いた事などを話して、これからも、再々

同級会を持ちましよう、

と話し合いました。次回

も元気な姿でお会いした

いもので。

週間天気予報では、当日は午後から天気は崩れると

いう事ができましたが、滅多に会

うことのできない我々に、天も味方してくれたのでしょ
うか、春でも珍しい位の好天に恵まれ、東京でも桜の名所の一つとされる青山墓地の桜の花を目一杯楽しむことができました。

湯浅を離れて四十五年。

学生時代にはクラスも、出

身中学も違い、卒業アルバ

ムでしか知ることのできな

かった在京8期生ですが、

やつと東京は青山で再会す

ることができました。

週間天気予報では、当日

は午後から天気は崩れると

いう事ができましたが、滅多に会

(高木綾乃 記)

連れもて箱根旧街道ハイキング

4期生
再びの中国旅行



三日来のはげしい風雨のため、小枝が落ちていたり、道がぬかるんでいたが、杉並木に囲まれた石畳の上をゆっくりと歩くこと、一時間弱。やつと、目ざす「甘酒茶屋」に到着。この茶屋は、戸時代から十二代続いていると言われば、杉皮ぶきの建物で、中に入るとビンヤリと涼しい。

来年は耐久創立百五十周年を迎える年で、母校の本部では色々と行事を

されておられる事でしょう。湯浅から遠く離れて

いる私どもも、百五十周年記念には大勢で揃つて集まることを楽しみに

しております。

この茶屋の建物を眺めたり、先程迄歩いて来た道がぬかるんでいたが、杉並木に囲まれた石畳を想い出しながら、昔の旅人がそれぞれ一人ひとりの物語を背負つて関所越えをし、ここで一服のお茶をのみ、旅の疲れをいやした姿を想像し、しばしば映画の世界に浸りました。

最後は、「やっぱり田舎の友達は工工なあ。」で解

散。

(高玉惠)

4期有志による中国観光は平成十二年に次いで今年四月に実施されました。前回は北京周辺であったが、今回は遠く西へ飛び、広州、昆明、麗江の旅である。チベットに近い所でしよう。中国通の友が多い事で、他の如何なる団体より、和気藹々、中国の歴史、地理、観光、食事等々大変有意義な旅を満喫しました。大都市広州の近代的佇まい、麗江方面の古来歴史を伝える村落、さすが広大な国土と四千年の風貌とでも言うか、我々を魅了せんにはおかなかった。只々同行された友人達に感謝申し上げたい。帰国後、大阪で反省会を催し、三次訪中の案が出で、十五年実施となる見通しである。これも、古希前の体力と余命を考えてのことであろうと苦笑する。時、恰も創立百五十年と、卒業五十年の節目である。多くの友が彼岸へと旅立つてゆくにつけて、せりの色は隠せない。元気なうちに、色々挑戦しようではありませんか。

(西邑孝)

耐久創立150周年記念 高13期生同窓会



2002.8.17 ホテルグランヴィア和歌山

母校耐久高校を卒業してはや四十一年が過ぎました。「今年は還暦の年・母校の百五十周年の年だから、記念に13期生全体の同窓会をせんか。」と、言う呼びかけで、六月の中旬、各クラス（六組）の有志が湯浅町の「本町ふれあいプラザ」に集まり、話し合つたところ即座に全員がやろうという意見になりました。

クラス単位で同級会を行つてゐるケースもありますが、全体で行うのは初めてで、名簿作りが大変でした。結果的に事務局長兼代表幹事の役割をしていただいた下野憲英氏の献身的なお骨折りで、二十九十六名の卒業生中一名を除いて、同窓生の住所も確認し、案内状を発送することができ、八月十七日、和歌山市の中テルグランヴィア和歌山で百八名が参加し、開催される再会を肩をたたいて喜び合うことになりました。

当日、会場の受付ロビーは一人一人の胸につけた名札（旧姓）を見て、四十二年ぶりの再会を肩をたたいて喜び合う光景が隋所に見られ、開会を前に早くも盛り上がりっていました。

高13期

還暦の年・四十一年ぶりの再会

(第13期・昭和三十六年卒業生同窓会)

（当日集めた13期からの記念募金
「十万」は代表者が母校を訪問し、
校長先生に手渡されました。）

記念撮影の後、西本康延氏の司会で同窓会は華々しく開会されました。全員で亡くなられた同窓生十六名と、お世話をなった先生方のご冥福を祈つて黙祷の後、校歌を齊唱し、下野氏の経過報告と開会の挨拶、白子勝昭氏の乾杯の音頭の後、懐かしい青春の思い出を偲び、これから的人生への抱負と意気込みを語り合う宴に入りました。

「学生時代の思い出話や近況」「子供や孫の話」「還暦・定年を迎えての今後の生活設計」等話題には事欠きません。最初はクラス毎に分れていたテーブルもいつの間にか入り混じつてしまい、予定されたいた四時間はあつと言う間に過ぎてしまいました。

昭和二十六年八月
周 年おめでとうございます。
私は第5期生でございます。
当時をふりかえるとなつかしさでいっぱいです。初めて図書館が出来てとても感激したものです。三年間図書委員をさせて頂き、今まで手本は私の友達です。
下手な歌が古い日記から出てきました。あの頃の図書の顧問先生は立野先生だったかなア……。

昭和二十六年八月

昭和二十六年八月

「図書館の成りて並ぶる龍」
藤村 漱石 両手に重し
古本背負い真夏真昼を

「図書館の成りて並ぶる龍」
由良町里 寺田裕美
(旧姓 柿谷)

図書館の思い出

図書館だより

OB・G著作の本を一つのコーナーに集める運動を展開しています。

ご本人さんは勿論、お気付きの方は是非、情報を含めご連絡をお願い致します。

同窓文庫係

最近の成績

- 平成十三年度全国高等学校放送コンテストNHK杯 アナウンス部門 出場 古川真祐子
- 平成十三年度高文連近畿大会 アナウンス部門 第四位 古川真祐子
- 平成十四年度全国高等学校放送コンテストNHK杯 テレビドキュメント部門 出場 坂本妹子
- 平成十四年度高文連近畿大会 デオメット部門 出場 有田高女同窓会様
- 平成十四年度高文連近畿大会 デオメット部門 出場 有田高女同窓会様

絆 放送演劇部の巻



「今日は、放送演劇部の紹介

をします。今年の二月までは部員はたったの四人だけでした。

三年生が十一人引退し、文化祭や体育祭などの司会進行や照

明など人手が足りなくてバタバ

タしていました。しかし、ボスター

を作りビラを配って新入生に呼

びかけ、その結果、今年度新入

部員が七人も増えました。みん

な個性あふれる人達ばかりで、

毎日楽しくクラブに励んでいま

す。クラブの主な活動として、発

声練習や自作ドラマの製作、そ

のためのインダストリー活動など

を行っています。放送演劇部の一

番のよいところは、みんな仲がいいことです。これは伝統でもあります。『つらいことがあつたりしても、クラブのみんなの顔を見るとホッとする。そんな一人一人

の個性のよさを大切にしながら

これからも楽しくやっていきた

い。』と部長は言っています。ま

さに「みんながつてみんなない」

という金子みすずさんの詩がぴ

つたりのクラブです。これから

目標は、今まで先輩が大事にし

てきた仲のよさを引き継ぎな

がら、コンクールにも入賞できれ

ばいいですね。」

これは二年生の岩川科奈子

が今年のコンクールで発表した

アナウンスの原稿である。これは

入賞はできなかつたが、彼女な

まりに我がクラブのよさを文章に

まとめあげている。そして彼女

の言葉どおり今年度テレビドキ

ュメント部門で三位入賞、全国

大会出場という快挙をやつての

けたのである。ただ、クラブにな

つて日がまだ浅いため、年間部

費はたつたの一万六千円。でも、

めげずに楽しくやっています。

同窓
俳壇

矢櫃 洋子（高3期）

・去年の泥つきたるままに稻架となる

・宙吊りの枯葉きりきり舞う漁港

市ノ瀬 伊久男（職員）

・猪垣の内ばつねんと村のあり

中内 京子（高15期）

同窓
歌壇

・華やぎを競ふ花展にわれ活くる

芭蕉の花は黙して咲きぬ

下野 香代（高20期）

・地に這いて犬の視線に眺めればはこべの花のなんと清らか

中内 京子（高15期）

・ときじく会様（高女22期）

・有田高女15期生様

・有田高女24期生様

・有田高女25期生様

・玉ヶ池種痘所から発展してできたのですが、これが建設の翌年に火事で全焼した時、浜口氏が七百両を与えて、

これで和泉橋に新しい

種痘所を再建できました。

（2）百五十周年募金に多額のご寄附有難うございました。

（1）会報へのご理解とご高志に心よりの感謝を申し上げます。

（2）百五十周年募金に多額のご寄附有難うございました。

（1）会報へのご理解とご高志に心よりの感謝を申し上げます。

（2）百五十周年募金に多額のご寄附有難うございました。

（1）会報へのご理解とご高志に心よりの感謝を申し上げます。

（2）百五十周年募金に多額のご寄附有難うございました。

（無記名様）

『編集後記』

「暑い！暑い！」とぼやいてしまいました。生石山では、もうすすきが一齊に白い穂をそよがせています。

『会報』も、皆様のご協力を得て、「十号」を発行する運びとなりました。誌面でおわかりのように、母校では百五十周年を迎える学校、PTA、同窓会が一体となつて、数々の催しや活動が繰り広げられております。

記念行事が実施されたり、またその準備がなされたりする間に、様々なエピソードが生まれています。いずれも梧陵翁の偉大さと、同窓生諸氏の母校に寄せる熱い思いを物語るものですが、本号で紹介しきれなかつたのが残念です。

十一月二日の、記念式典と梧陵翁像の除幕式というピクニックに向かつて、記念募金も続々と寄せられておりますが、何といつても、百五十周年という区切りの大事業です。まだお済みでない方々には、一人でも多くの方の、この耐久という人の輪に加わっていただけます。

今回も会報の発行に際して物心にわたるご配慮を、また賛助広告としてご協力いただいた方に心からお礼を申し上げます。